



新発田駅前複合施設 基本設計案

2014. 1. 10

※この案は、確定のものではありません。今後、変更する場合があります。

計画案

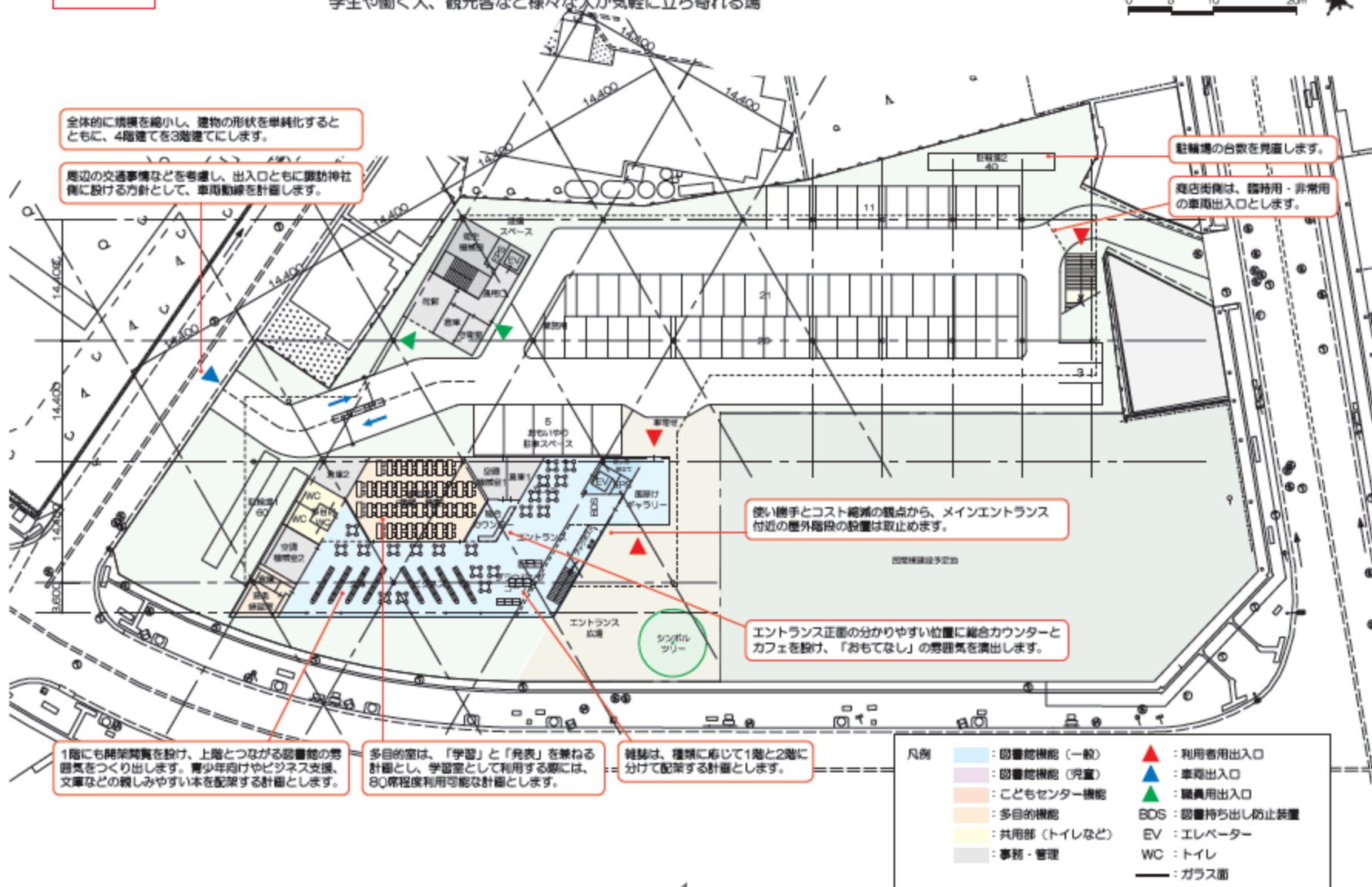
1階平面図

おもてなしライブラリー

学生や働く人、観光客など様々な人が気軽に立ち寄れる場

S=1:400

0 5 10 20m



全体的に規模を縮小し、建物の形状を単純化するとともに、4階建てを3階建てにします。

周辺の交通事情などを考慮し、出入口ともに要訪持社側に設ける方針として、車両動線を計画します。

駐輪場の台数を見直しします。

建店街側は、臨時用・非常用の車両出入口とします。

使い勝手とコスト削減の観点から、メインエントランス付近の屋外階段の設置は取止めます。

エントランス正面の分かりやすい位置に総合カウンターとカフェを設け、「おもてなし」の雰囲気を出します。

1階にも読架間を設け、上階とつながる読架間の雰囲気をつくり出します。青少年向けやビジネス支援、文庫などの親しみやすい本を配架する計画とします。

多目的室は、「学習」と「発表」を兼ねる計画とし、学習室として利用する際には、80席程度利用可能な計画とします。

雑誌は、種類に応じて1階と2階に分けて配架する計画とします。

凡例	
■	図書館機能 (一般)
■	図書館機能 (児童)
■	こどもセンター機能
■	多目的機能
■	共用部 (トイレなど)
■	事務・管理
▲	利用者用出入口
▲	車両出入口
▲	職員用出入口
■	BDS: 図書持ち出し防止装置
■	EV: エレベーター
■	WC: トイレ
	ガラス面

計画案

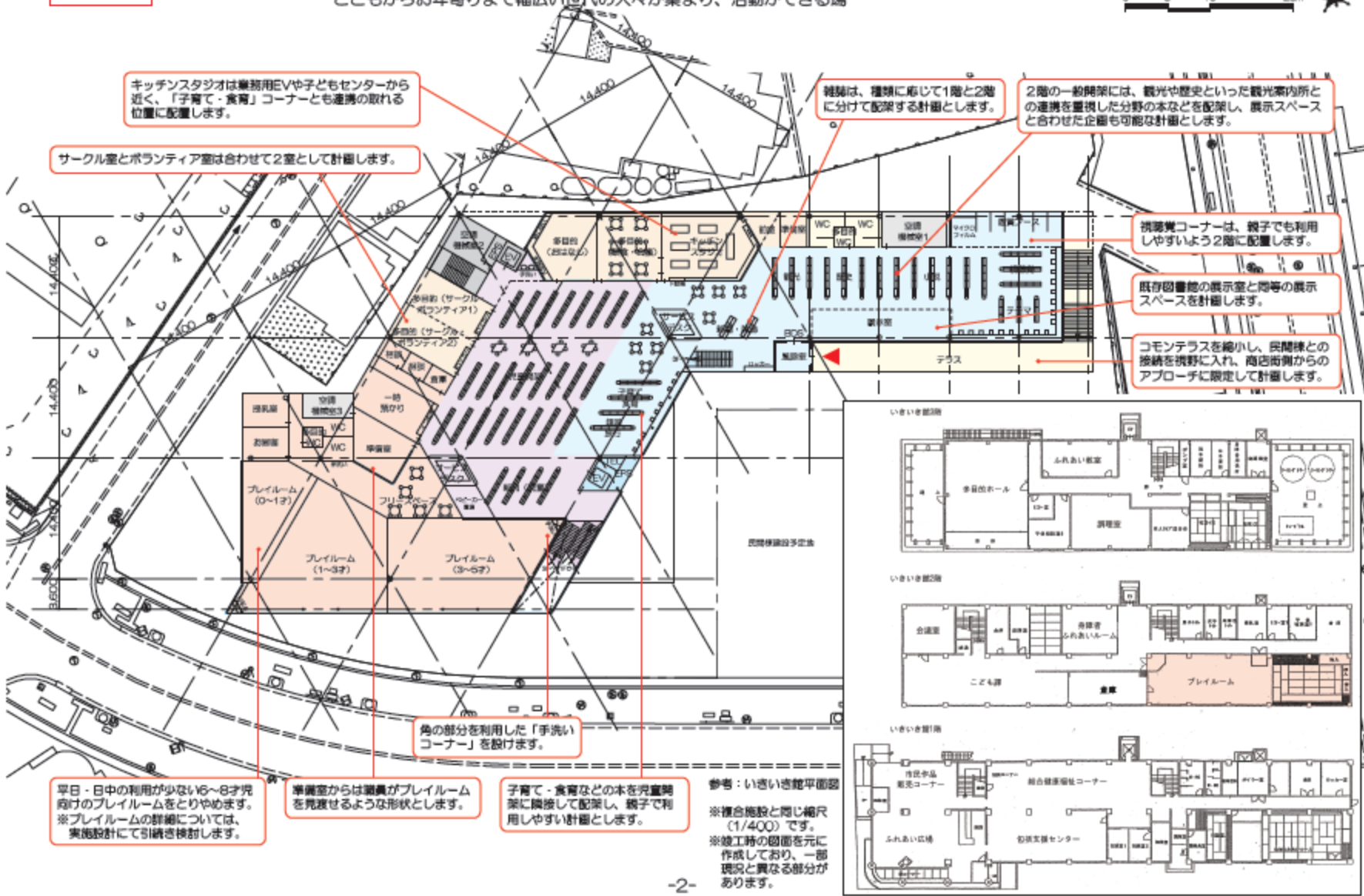
2階平面図

しばたライブラリー

こどもからお年寄りまで幅広い世代の人々が集まり、活動ができる場

S=1:400

0 5 10 20m



キッチンスタジオは兼用EVや子どもセンターから近く、「子育て・食育」コーナーとも連携の取れる位置に配置します。

サークル室とボランティア室は合わせて2室として計画します。

読書は、種類に応じて1階と2階に分けて配架する計画とします。

2階の一般開架には、観光や歴史といった観光案内所との連携を重視した分野の本などを配架し、展示スペースと合わせた企画も可能な計画とします。

読書コーナーは、親子でも利用しやすいよう2階に配置します。

既存図書館の展示室と同等の展示スペースを計画します。

コモンテラスを縮小し、民間棟との接続を視野に入れ、商店街側からのアプローチに設定して計画します。

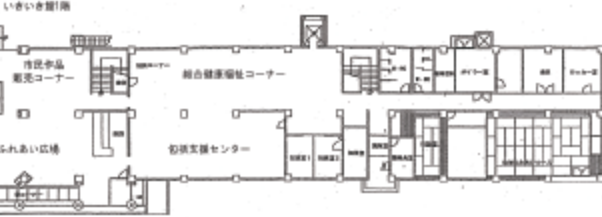
角の部分を利用した「手洗いコーナー」を設けます。

平日・日中の利用が少ない6~8才児向けのプレイルームをとりやめます。
※プレイルームの詳細については、実施設計にて引き続き検討します。

準備室からは読書がプレイルームを見渡せるような形状とします。

子育て・食育などの本を児童読書架に隣接して配架し、親子で利用しやすい計画とします。

参考：いきいき館平面図
※複合施設と同じ縮尺(1/400)です。
※竣工時の図面を元に作成しており、一部現況と異なる部分があります。



計画案

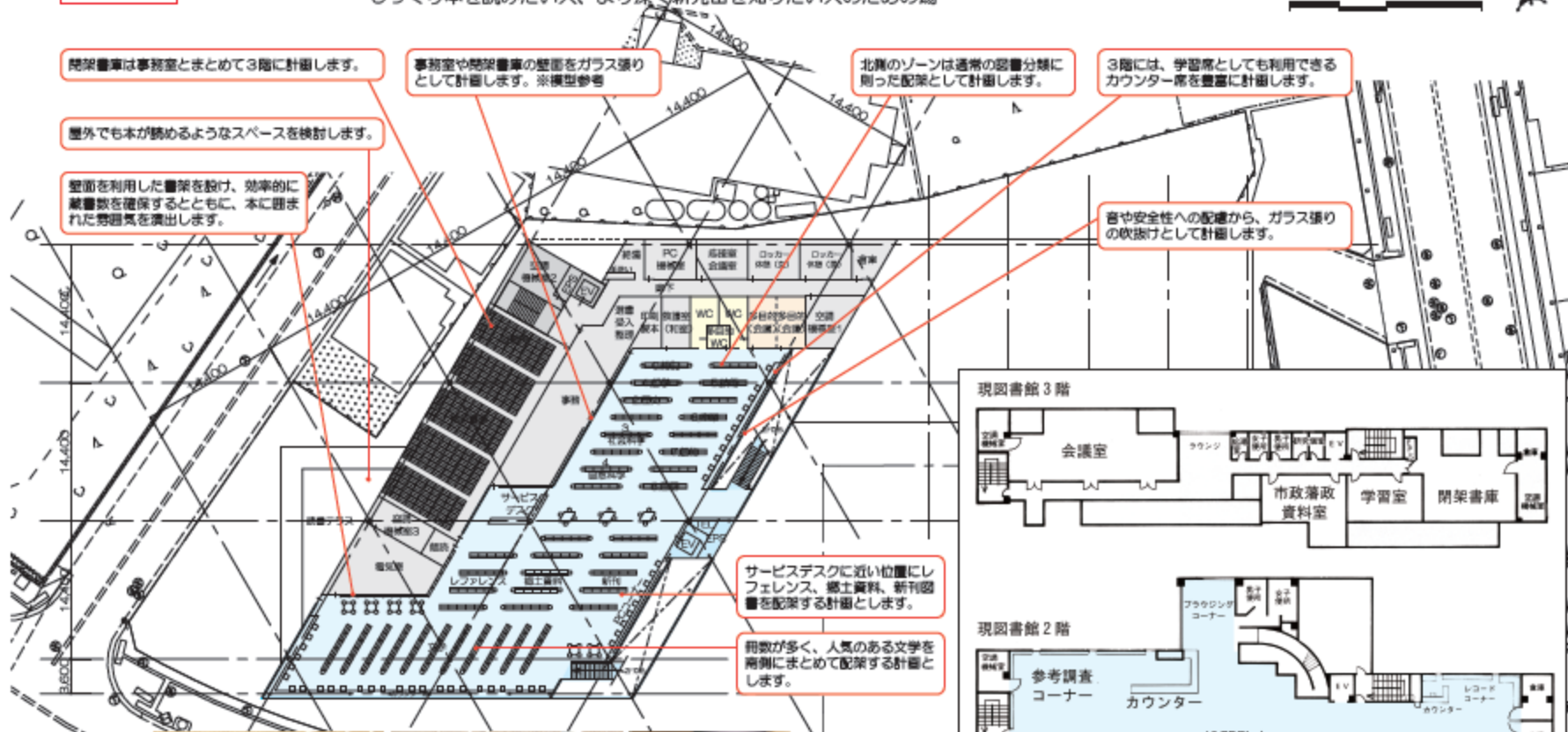
3階平面図

まなびライブラリー

じっくり本を読みたい人、より深く新刊本を知りたい人のための場

S=1:400

0 5 10 20m



書架配置
参考イメージ写真



小布施町立図書館①
(三角形の平面)



小布施町立図書館②
(三角形の平面)

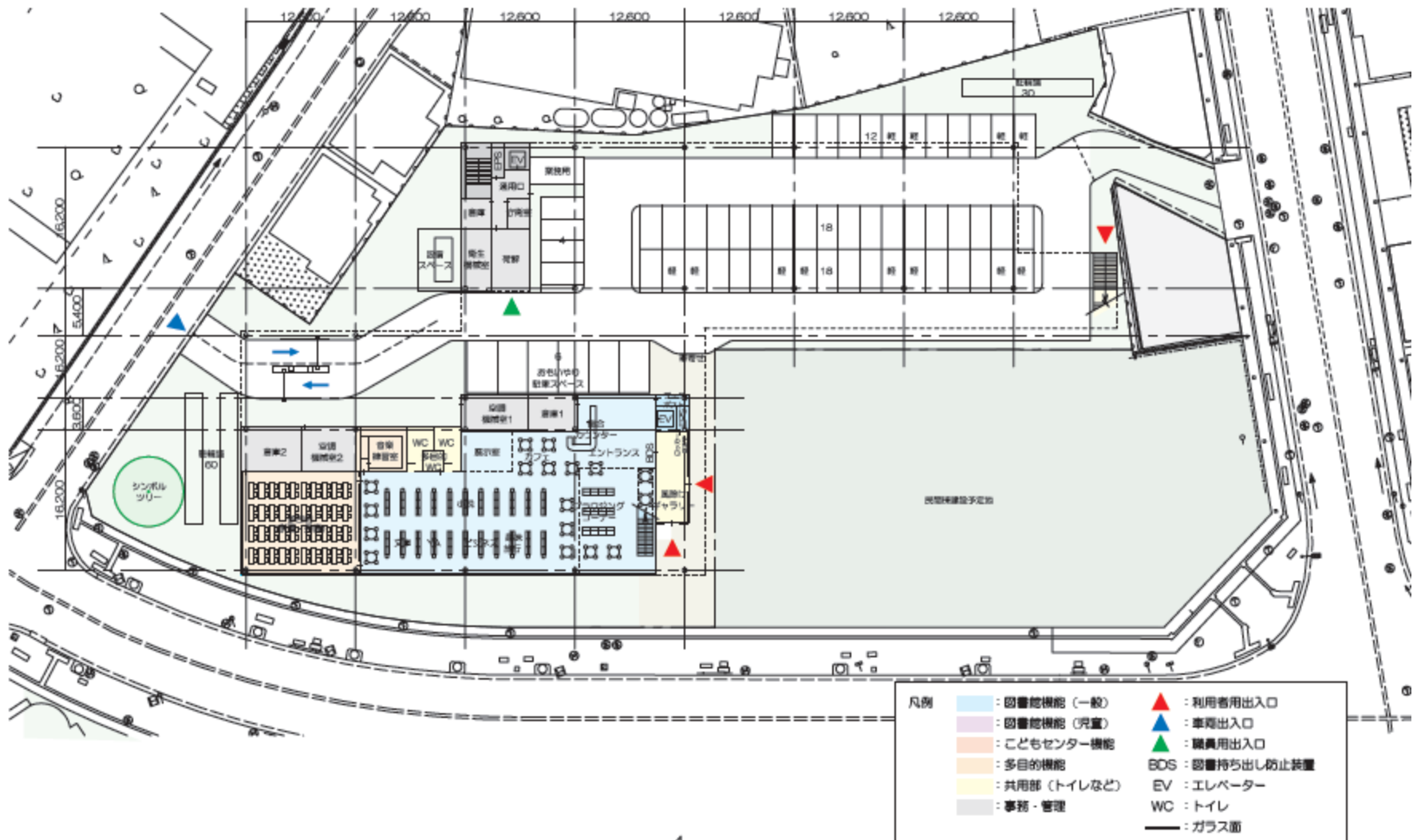
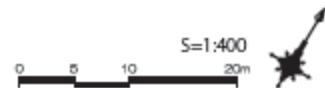


明治大学和泉図書館
(平行四辺形の平面)

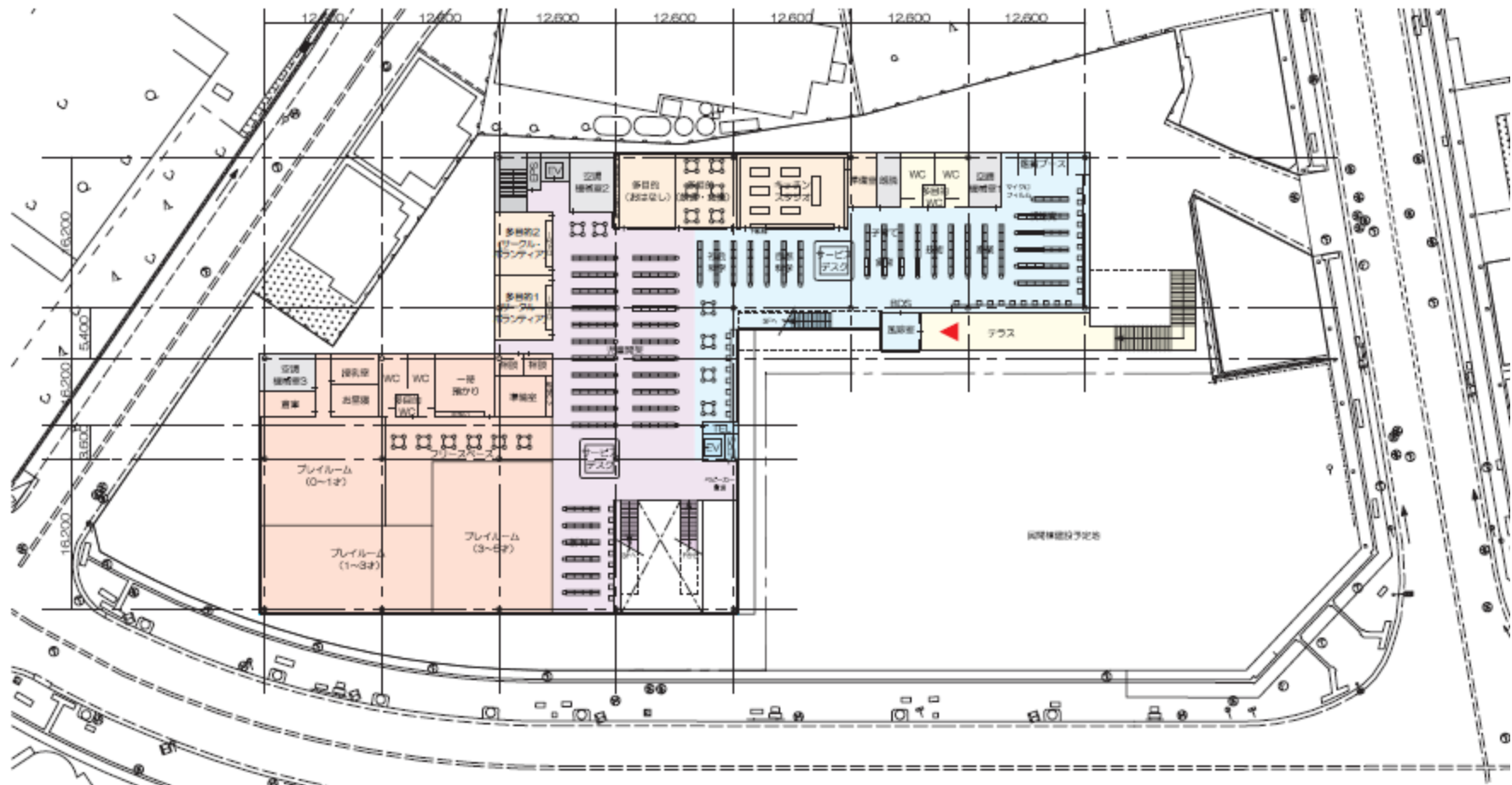
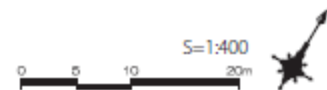
参考：現図書館平面図

※複合施設と同じ縮尺(1/400)です。
※竣工時の図面を元に作成しており、一部現況と異なる部分があります。

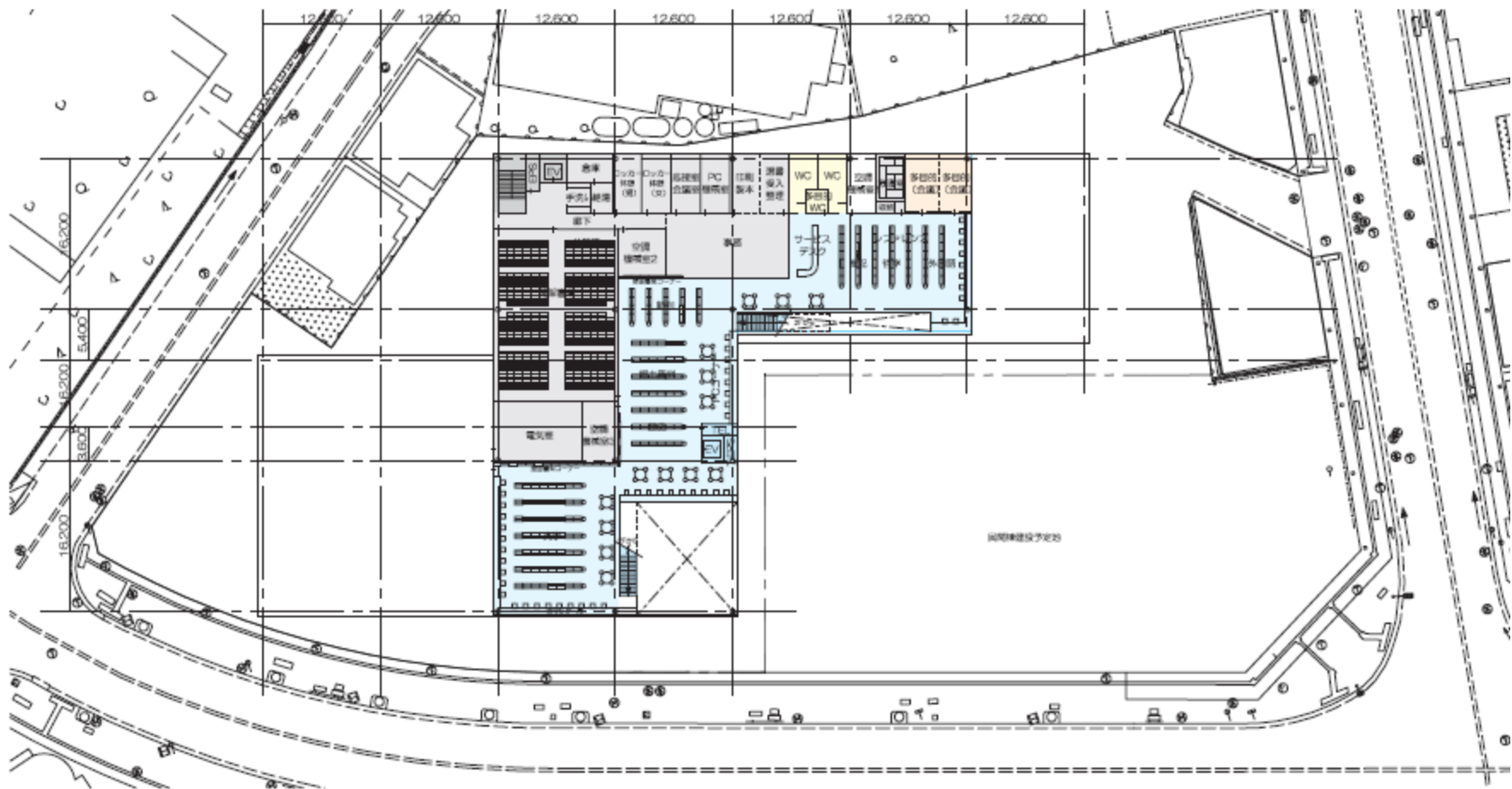
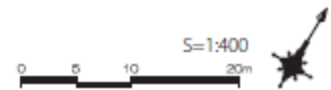
検証案 1階平面図



検査案 2階平面図



検証案 3階平面図



基本設計案比較表

比較項目		①現図書館	②2013. 12. 8案	③計画案	④検証案	備考
面積	1F	725	924	889	1,072	
	2F	806	2,664	2,560	2,554	
	3F	527	1,778	1,709	1,626	
	4F	-	1,211			
	屋内合計	2,058	6,577	5,158	5,252	
	建築面積	-	3,656	2,962	2,972	
	多目的部分	-	750	544	565	
	子どもセンター部分	270	1,022	844	893	①は、猿橋コミュニティセンター、いさきき館のフレーム合計面積
	駐車場（ピロティ）	-	2,300	2,073	1,900	
	コモンテラス	-	334	149	175	
蔵書数	一般開架	-	180,000	152,000	149,000	
	児童開架	-	40,000	34,000	36,000	
	閉架書庫	-	220,000	212,000	204,000	
	合計	241,470	440,000	398,000	389,000	
座席数		117	550	470	462	
まとめ	見通し・連続性	・計画案は緩やかな角度で曲がり、各ゾーンの連続性が生まれているのに対し、検証案は直角に曲がるため、連続性が途切れてしまう。				
	コスト	・上表から、計画案と検証案はほぼ同等の面積効率であり、規模の観点から計画案が検証案より金額が増加することはない。 ・計画案自体についても、形状の単純化により、部材等の増額要因が軽減されている。				
	効率性	・計画案でも形状に合わせた間仕切や家具の配置は可能であり、検証案と同等の蔵書数、座席数を確保できる。				
	形状	・計画案の敷地形状に合わせた建物配置に対し、検証案は極力単純化した形状としているため、屋外にやや非効率な部分がある。				
	構造	・検証案は一般的な構造形式だが、計画案も三角形の均等なグリッド（柱・梁の配置）で力が分散される合理的な構造計画となっている。				
	シンボル性	・計画案は「稲穂」や「五階菱」など、しばたの顔としてふさわしいシンボル性を備えているが、検証案は施設の「顔」をつくりにくい。 ・駅からの見え方を比較すると、計画案の方が視認性が高い。				